

寫

會 報

第 4 号

支部結成紀念号



滋賀県老人大学校同窓會

ご 挨拶

会長 中 川 長 三

敬愛する同窓各位が、それぞれの地域で、“今を生きる”精進にこれつとめられつつありますことは、寔に同慶の至りであります。

母校滋賀県老人大学校の校運將に隆昌の一途を躍進し、昭和53年7月14日創立以来八星霜。卒業生365名。現在207名(第6期生101名、第7期生106名)の在校生を数え、年間1,041万余円の県費をもって運営され、卒業生は県下八支部の力強い基盤に団結し研修に励み、進んで社会参加に勤しみつつありますことは誠にたのもしい限りであります。

このたび会報第4号を刊行することになり、編集部員各位の大変なお骨折りによって今日お手許へとどけることになりました。ご苦勞に深甚の謝意を表すると共にこの会報が各支部の活動を助長し、本会の目的達成の大いなるよすがとなることを冀い、会員みなさんのご多幸と、母校並びに同窓会の弥栄を祈りご挨拶にかえます。

大津支部結成の経過

支部長 菴原忠男

昭和59年5月16日県老人大学校同窓会は、諸般の事由から県下八地域に支部を設立することと決定され、引続き8月27日には支部長会議において、同窓会本部及び同窓会事務局より支部結成の具体的な説明指示と同窓会員名簿を受領し、早速大津支部設立の準備に着手いたしました。

支部長菴原忠男を中心として、11月5日第1回準備委員会を開催し、規則の作成、会員名簿の作成、役員の人選、設立総会の日時場所、総会当日の業務分担等を協議し、更に11月26日、再度設立総会諸般に亘っての準備事項を確認するための委員会を開催し遺憾なきを期しました。

昭和59年11月30日、好天に恵まれ小春日和を思わせる晩秋の暖かい日、大津市立老人福祉センターにおいて同窓会大津支部設立総会を開催いたしました。同窓会員72名中48名出席他に委任状19名。来賓として中川長三同窓会長、湖東支部中島庄右エ門の両氏を迎え、盛大厳粛裡に支部規則の審議制定、役員を選出について選考委員会による選考結果等、総て満場一致の承認を得て大津支部が正式に設立いたしました。

今後は同窓会の目的である会員相互の親睦と研鑽に努め、滋賀県老人大学校卒業生たる自覚のもとに、支部の発展に寄与し地域社会の向上に貢献するよう努力いたす所存であります。

(高野記)

湖南支部結成経過

湖南支部長 伊藤博祐

59. 5. 16 彦根に於ける本部主催の同窓会総会にて、従来の本部一本化の同窓会組織を全県下八地区に分け即ち八支部を結成することに決議され、その支部

長を推薦することになり本総会において当支部の支部長として、伊藤博祐が推せんさる。

59. 9. 11 及び 9. 18 両日に於て草津市勤労福祉センターにて当支部結成準備委員会を開催し当支部の役員（支部長、副支部長、理事、常任理事、監事）を選考し、59. 10. 16 に当支部の結成創立総会の開催を議決する。右決議に基き湖南支部（五地区にわたる会員、即ち草津市、守山市、滋賀郡、栗太郡、野洲郡）在住の滋老大第 1 期より第 5 期までの卒業生会員に連絡し創立総会に出席参加を呼びかく。

59. 10. 16 草津市公民館において午後 1 時より湖南支部結成総会を開催す。全会員数 65 名のうち出席者 45 名、欠席会員 20 名。

当日の主たる議題と決議事項。

- (1) 湖南支部規約を定める。大綱は本部の会則に準じてこれを規約す。
- (2) 支部役員次の如く選出決定す。

支部長	伊藤博祐	(草津)	3 期文
副支部長	斉内俊吉	(野洲)	3 期園
理事	園田満寿	(栗太)	1 期生
同	今井満	(守山)	1 期陶
同	矢谷留吉	(同)	2 期陶
同	中川保二	(野洲 中主)	3 期園
同	米田己吉	(野洲)	3 期陶
同	小堀定一	(草津)	4 期陶
同	後藤猪三郎	(栗太)	4 期文
常任理事	加藤貞子	(草津)	3 期文
同	北野春子	(栗太)	3 期生
同	稲村直子	(草津)	4 期生
同	寺井良子	(野洲)	4 期生
監事	嶋鉄男	(草津)	3 期陶
同	沢村銀一郎	(滋賀)	3 期園

以上 15 名

本日の創立総会に本部中川会長並びに近江八幡支部より中嶋副支部長出席、祝辞を受く。議事終了後アトラクションとして奇術、舞踊を披露して総会を了る。

59. 11. 19野洲に於て第1回の役員会開催す。出席者12名、主として本部費及び支部費徴集に関し協力方を要請する。

60. 1. 21草津市において『5期生』の集いをなし次回支部総会時までの世話役(若干名)を依頼す。

60. 4. 30草津市において役員会及び世話役参集し、5. 16本部主催の総会に参加要請の通知を全員になす事を依頼す。

甲 賀 支 部 の 結 成

支部長 丸 市 喜 好

人がいつまでも元気でありたいと願うように、総て厳しい自然の中でも必死に生きているのです。会員の皆さまも一病息災の健康で社会に活躍能力をひき出し、寿命を伸ばすために努力して下さい。

ご承知のように滋賀県老人大学校は、高齢者社会に対応した高齢者への学習と生きている素晴らしい老後生活の確保を目的として開設されました。その幻の学科、福祉学科の一期生です。

さて、昭和59年5月16日、彦根市民会館での第4回総会で、滋賀県老人大学校同窓会に、八地域支部結成する案件が決議され、甲賀支部の支部長に、はからずも浅学非才の私をご推薦をうけて感謝しつつ、へたの考え休むに似たりで時を過しましたが、支部結成の時期を年度初めの60年4月ときめて、その間に二度郡内の会員諸兄姉各位に、支部結成のご協力を書き添えた葉書を差出し、皆さまからの励ましのお便りをいただき力強く思いました。

60年3月下旬に、水口町の島田さんに会場と準備をお願いして、碧水荘にて4月8日甲賀支部の結成集会を開催する案内状を差出したところ、出席者が少

ないので島田さんから中止をしてはと相談を受けた位です。しかし、いま甲賀支部結成を實行せねばと強行した4月8日は天気晴朗でした。

支部規約を審議の上決議した。

役員の選考推薦して支部結成の集会を終了しました。支部会員は現在36名、6期生が卒業すると53名になります。

所期の目的達成のためには、会員皆さまのご援助と役員諸氏の努力によって甲賀支部は発展の道を進むものと信じています。

近江八幡支部の活動と沿革

支部長 小 西 一 郎

年月日	摘 要
昭 55. 12. 7	滋賀県老人大学校比牟礼同窓会の設立総会を近江八幡老人クラブ憩の家にて開催、会則案の審議、承認 役員選出
昭 55. 12. 22	事務所を西元町 47 会長宅の中嶋実氏へ決定。会員 24 名に報告。
昭 56. 11. 8	10月29日県老大入学式後当市第四期生13名入会、第2回会則の補則修正、役員選任、会報発行と県老大移転防止の件を審議する。
昭 56. 11. 13	近江八幡市老ク連会長を依頼し同窓会長外3名井狩市長に県老大大津移転防止に関する陳情を行う。
昭 56. 12. 25	会報発行の型式を定め原稿用紙を会員に配布す。
昭 57. 3. 11	会報編集委員会開催。
昭 57. 4. 11	幹事会市老憩の家にて開催。会報配本と会報代徴収に付て協議。
昭 58. 3. 6	同窓会総会を市老人クラブ憩の家にて開催。 第五期生 14 名に案内状発送、当日の協議事項次のとおり。 1. 県老大同窓会に関連する事項。 2. 近江八幡市に県老大再誘致陳情の経過。

3. 比牟礼同窓会の会報第2号発行と役員の変更。
- 昭58. 5. 24 改選した幹事の初会合を市老人クラブ憩の家で開催、協議事項
1. 比牟礼同窓会々報第2号発行に付て細部の打合せ。
 2. 会費徴収について。
- 昭58. 7. 5 同窓会々報第2号発行について編集委員会を開催。
- 昭59. 4. 13 同窓会総会を開催
1. 県老人大学校同窓会総会開催について。
 2. 県老人大学校近江八幡市に再誘致に付て。
 3. 比牟礼同窓会々報第3号の発行に付て。
- 昭59. 7. 12 比牟礼同窓会々報第3号編集委員会開催
- 昭59. 7. 31 会報第3号稿正会議
- 昭59. 8. 10 会報第3号発行会員に配布
- 昭60. 2. 7 比牟礼同窓会本部役員会開催 協議事項
1. 近江八幡支部と改組に付て。
 2. 会則変更に付て。
 3. 其 の 他
- 昭60. 3. 27 本部役員会市老人クラブ憩の家にて開催
1. 昭和60年総会開催に付て。
 2. 5月10日滋賀厚生年金休暇センターにて開催に決定。センター見学。
- 昭60. 4. 21 県老大同窓会の総会を5月16日に近江八幡市滋賀厚生年金休暇センターにて開催決定せらるゝに付本部役員会を開催センターと交渉万遺憾なき様準備す。
- 昭60. 4. 30 県老大同窓会総会にて地元支部としての細部に付ての打合せのため幹事会を市老人クラブ憩の家にて開催す。

湖東支部結成の経過について

支部長 畑 中 保治郎

滋賀県老人大学校では、逐年増加する卒業生の組織を強化するため、県内各地に同窓会の支部が結成されることになりましたが、図らずも私が湖東地区の支部長を仰せつかりました。何分にも一市二郡の広大な地域に散在する卒業生が、これまで「学年別又は学科別」中心に連帯されている現状から地域割に移行することについて苦慮いたしました。

早速9月5日に地区内各町の代表の方6名を拙宅に招き、先ず支部結成を盛り上げるために忌憚のない意見の交換を行ないました。この6名の中には、初対面の方もありましたが、お互に膝を交えてのなごやかな空気が醸し出されて、和気藹々のうちに発会式の段取りができたのであります。

いよいよ9月25日竜王町商工会館で発会式を開催しました。幸に中川同窓会長のご参加をいただき、20数名が一堂に会しましたが、面識のない顔ぶれが交っていても格別固さも覚えず、役員を選定も予定通り取運び茲に湖東支部の結成が実現しました。

老人大学も既に第七期生を迎え、卒業生も年と共に増加するので、同窓会員の中に違和感があってはならない。常になごやかな空気が保たれなければならない。以下私の感想を少し述べてみたい。

私は高等小学校卒。全くの無学歴の身であります。32才の時、北京大学予科へ入学を許され、会社の執務を終わってから毎日4時間学習すること満3年、ようやく卒業することができました。然し学生は中国人を主としていたので、卒業後は学校関係の交りは皆無でした。従って同窓会の味というものを知りません。50才の時終戦を迎え、北京最高裁で戦争犯罪人として無期懲役の判決を受けましたが、その翌年4月に変名して命からがら内地へ帰ることができました。この時出迎えてくれたのが小学校の同窓生で、私はこんな嬉しかったことは生涯ありません。同窓生の温か味は終生忘れ得ません。その後町議会議員に両三度出馬しましたが、3回共上位で当選したことも同窓生のお陰であるといまでも感謝している次第であります。

老人大学の卒業生の中には、現在老人クラブの指導者や他の団体の幹部になっている人が数多く見られるが、これは大学設置の主旨からも誠に喜ばしいことであり、高齢化社会に移行するにつれ、この必要性を一層痛感しています。また老人の中には、やゝもすれば頑迷に陥り、ひんしゆくを買う場合がありますが、ある程度の妥協性を持たなければ、若い者から尊敬され信頼を得ることはできません。私も確かにその一人であることを反省し、今後も十分注意するつもりです。齢既に84才、あと幾ばくの余生に思いを致し、1日1日を有意義に送ることをわが心として自からの健康を希うものであります。

憂きことの尚この上に積れかし

限りある身の力試さん

私の座右の銘としております。

会報発刊のご挨拶

彦根愛犬支部長 近藤辰次郎

滋老大同窓会彦根愛犬支部を昨年11月16日結成以来、支部の発展につき微力ながら全力投球、皆様には昭和60年乙丑の新春をお元気で迎えになり慶賀の至りです。

隣接湖北支部長宮崎さんとは常に連携を密にし支部発展のためお互いに協力を確約し、常に情報の交換、同支部は新年早々会報発行迄漕ぎつきられたと承り、当支部も遅まきながら会報発行につき計画、元より会報は会発展のため欠くことの出来ない情報網であり、会員相互の意見交換、教養の向上、趣味の充実、会員の動静等々、今後の隆盛に期待する処多大であります。

私達は常に老大卒業生たる誇りをもって、地域社会におけるリーダーとして、奉仕活動に努め後輩並びに老人会員の育成指導に尽力する事が高令者の生甲斐に通ずるものと考えます。

会報の内容は投稿も少なく貧弱でありまして、次号からは会員全員の方に御投稿をお願いして、充実した立派な内容に致し度いと思います。

今後益々支部の発展と老人大学の隆盛を祈願致しますと共に、御投稿下さった方々に対し感謝申し上げましてご挨拶といたします。

会報発刊のご挨拶

湖北支部長 宮崎 程彦

滋賀県老人大学校同窓会湖北支部結成してよいよ湖北支部として目出たい1985年の新春を迎え、我が国も急速に高令化社会へと移行し、我々会員はこの老年期をいかにして生きるかという、国民的課題と取り組んでいかなければならないという試練の時を迎える時、同窓会の皆様方と共に真剣に考えなければなりませんと思います。

滋賀県老人大学校同窓会憲章の趣旨を基本として、会員相互の親睦を活字によって深め、衆知を結集して湖北支部発展を願う同窓会湖北支部結成開設の第1の事業として支部報を発刊していきたいと考え、副支部長各位に相談致しましたところ多くの賛成をいただき、会員各位に投稿をお願い致しましたところ、大多数の方より御投稿をいただき会員皆々様の支部報発刊に対し関心の程を知り、「言うは易く行ふは難し」と言う言葉の通り色々前途にはむつかしい問題がありますが、支部報は私達会員の心の広場であると考えますので、不省私が先頭に立って取りまとめ、発刊の喜びを見ました次第です。

この支部報も永く続行する事に支部報の持つ意味がありますので、愛される待つ支部報にする様にして所期の目的達成に持って行くには皆々様会員の協力なくては出来ない事とて、会員役員各位の御協力御指導を心よりお願いし、創刊号を皆々様にお渡し出来た喜びの気持ちを発刊のご挨拶と致します。

同 窓 会 沿 革

年・月・日	摘	要
S 55. 9. 22	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 滋賀県老人大学校同窓会の設立総会を、草津市社会福祉センターにおいて、第一期卒業式終了後に開催 会則案の審議と承認 役員選出 	
12. 1	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 同窓会役員会開催 会則第5条（事業）の具体化について協議 第1回総会日程決定（S 56. 3. 25） 	
S 56. 2. 21	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 理事会開催 総会日程の決定 予算案の審議と作成（別表） 会報形式の決作と執筆要領の決定 	
3. 25	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 第1回総会開催（草津） 会報報告 予算案の審議と承認 当日の老大大公開講座に出席し研修する。 	
S 57. 2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 役員会 ◦ 会計監査 	
3. 8	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 第2回総会開催（草津） 会務報告 予算・決算の承認 当日の老大大公開講座に出席し研修 総会后懇親会 於あたか飯店、 	
12. 14	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 役員会 	
S 58. 3. 17	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 会計監査 ◦ 役員会 	

年・月・日	摘	要
S 58. 3. 24	総会日程の確認 会計決算・予算の審議と作成 昭和58年度役員選出 ○第3回総会開催（大津） 午前中 発表会・議事 午後 懇親会	
	7. 21	○理事会 S 59年度計画
S 59. 2. 20		○理事会 S 59年度計画
	4. 21	○理事会 総会の件
	5. 16	○第4回総会開催（彦根）
		支部結成（大津・甲賀・湖南・湖東・近江八幡・彦根愛犬・ 湖北・高島・県外） 会員発表（A活動、B地域連帯） A 2生（宮崎） 4陶（高野） 4生（村田） B 3陶（吉川）
	8. 10	○理 事 会
	8. 27	○理事・支部長合同会
S 60. 3. 11		○正副会長会
	4. 19	○理事会 理事・支部長合同会
	5. 16	○第5回総会開催（近江八幡市）
		午前中 議事・発表会
		午後 懇親会

会 員 名 簿

近江八幡市 一巻一支部長

部	字村	氏名	家	所	年	TBL	備考
團	新井	徳吉	近江八幡市北津田町105		523	0148 32-2074	
	山本	由雄	中小高700			35-1823	
生	大井	善子	小坂野200			35-1823	元記
	山本	秋子	東田町200			37-6490	
團	高多	幸子	魚屋町100			32-4510	
	谷口	徳吉	西小坂町100			32-4657	
福	中野	幸子	加茂町100			34-2107	元記
	井	幸之	江津町82			25-8036	
團	田	繁枝	高野632			32-2073	
	中	徳吉	西元町47			33-2436	
生	志	文雄	西宿町70			37-2061	
	宇	正吉	小幡町中17			37-1804	
文	片	水雄	南津田町25			37-0567	
	岡	幸子	魚屋町元			37-2218	
文	田	幸吉	成子井町387			33-6490	元記
	前	定平	加茂町2876			34-8656	
團	吉	保三郎	北本町2			33-2090	
	大	雪	上田町337-2			33-2074	
生	川	栄	西本郷町483			37-1876	
	中	庄右衛門	赤尾町384			37-1281	
文	泉	乃仁	玉屋町8			32-2026	
	上	辰次郎	藤崎町1625			37-1823	元記
生	森	幸吉	北津田町100			37-1823	元記
	安	三	高元寺町106			37-2026	
生	山	幸吉	新本町1200			37-2481	
	山	幸美	西庄町1300			33-6434	

近江八幡支部